

派遣報告書

平成28年2月15日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会
(代表) 議員

中野 隆



次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

記

- 1 派遣期間 平成28年2月8日(月) から平成28年2月10日(水) まで
- 2 派遣先 熊本県八代市, 福岡県糸島市
- 3 視察(調査) 議員名 中野 隆
- 4 面会者 別紙
- 5 派遣目的 熊本県八代市公共交通学校適正化について
- 6 視察の経過及び感想 福岡県糸島市保育所の民営化

別紙

7 添付書類 八代市 ①公共交通八代市の取組について

(1)

②学校規模適正化基本方針

(2)

糸島市 ①公立保育園の民営化について

要した経費: 1 人合計 73,840 円

派遣の目的

熊本県八代市

公共交通・学校適正化について

福岡県糸島市

保育所の民営化

視察の経過及び感想

2月8日 倉吉市 → 熊本県八代市

2月9日 熊本県八代市

・公共交通について

対応者 八代市 企画振興部 企画振興課 企画係長 草西亮介

八代市は平成17年8月に八代市・坂本村・千丁町・鏡町・東陽村・泉村が合併して新八代市が誕生している。そのため、旧八代市のように人口が比較的多い地域と、人口の少ない地域を抱えている。また、市役所から車で2時間かかる地域も有る。

利用者の減少も有り、平成22年度は2億の補助金を出していた。乗り合いタクシーなど交通体系を変更したことにより、平成23年度は1億5千万円になったがその後だんだんと補助金は増加している。

バスの運行は旧市内は普通の路線バスと循環バスを運行し、山間地へは拠点から拠点をバスが運行しその先は乗り合いタクシーが運行している。

市街地と山間地を抱えているために2通りの対応をしている。特に山間地の乗り合いタクシーの対応は拠点から地域のバス停までの対応である。また、前日までに連絡が必要であり、利便性に欠けると感じた。利用者がだんだん少なくなっており、財政負担の増加についても同じ悩みを抱えていると感じた。

・学校適正化について

対応者 八代市 教育委員会 教育部総括審議員兼次長 釜道治
教育部 学校教育課 審議員 櫻井幸枝

八代市では小学校の望ましい学校規模が12学級～24学級、中学校では12学級～24学級としている。

適正化に向けた具体的な手法として、

- ①学校の統廃合
- ②通学区域の変更
- ③小中一貫・連携教育の導入

を検討しているが、具体的には複式学級解消のための学校の統廃合が進められ

ている。

学校の統廃合については子どもの教育を第一考え、地域住民との話し合いを深めることにより、信頼関係を構築し、学校の統廃合を進めてきたという事をであった。

学校の統廃合については地域では賛否が分かれてしまう事が多いが、地域住民との信頼関係を作ることにより、より良い解決がなされると感じた。倉吉市も信頼関係を作ることがこれから努力することだと思う。



公共交通について



学校適正化について

2月10日 福岡県糸島市

・保育所の民営化について

対応者 糸島市 人権福祉部 子ども課 課長 藤田晋
子ども課 係長 真鍋竜司
神在保育所 所長 岩崎誠一郎

糸島市の保育園の状況は当初からの民設民営の保育園が13園、公設から民営になった園が5園、公設公営1園（29年度には民営となる予定）である。29年度には糸島市のすべての保育園が民営化される。

倉吉市の状況とは全く違うので、民営化についての市民の感じ方が違うのかもしれないので、市民の民営化の反応を質問した。

（回答として）市民の保育園の民営化に対する抵抗感は少ないと思われる。しかし、公設に対する安心感はあったと思われるが、民間の保育園の特色と民営の保育園に対する評価も良かった。公設から民営に移行するとき、最初の園での成功が次々と民営化されたことにつながっている。住民との話し合いを十分にすることで信頼を得る事が出来たのも成功につながった。

最後に残った1園については、子どもたちの最後の砦として、また、現場を残すという事で議会でも賛否はあったが、29年度からすべての園が民営化されることになった。保育士は行政としても必要であり若い職員を採用した。

倉吉市民は公設の保育園が民営化されることに対する抵抗は強いものが有る。公設が良いのか民営が良いのかは一概には決められないが、住民との話し合いは重要であると思う。

